

HTEC TIMES

Honda Technical College kansai

学校法人ホンダ学園
ホンダ テクニカル カレッジ 関西

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
 TEL:072-366-9011 FAX:072-360-2230

発行責任者
 校長 村上 洋

ホームページ・ケータイ サイト
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/

QRコード対応
 ケータイで
 簡単アクセス!



ホンダ学園祭 2010

ホンダ学園祭は、今年で9年目を迎え、大人から子供までだれもが楽しめる学園祭として、毎年数多くの大阪狭山市のみなさん、御家族のみなさんに参加していただいています。

～夢と友情を学園で～

9月18日(土)、ホンダ学園祭が開催されました。今年の学園祭「ホンダ学園〜夢と友情を学園で〜」をスローガンに学生たちは自動車の専門学校の特徴を活かした「技術コンクール」で日々の成果を競い合いました。又、イベントでは、8耐ビットデモを始めM.I.S.S女裝コンテスト、メイスイイベントの「小林直樹選手によるトラリアル」では、ウイリーやジャックナイフなどプロの技術でたいへん盛り上がりました。各クラスでは模擬店で焼き鳥、そばめし、射的、ダーツ、映画上映が催され、年末に売上金は大阪狭山市へ地域福祉に役立てていただけるよう寄付する予定です。今年も天気も快晴で、ご来校くださった皆さんに楽しんでいただきました。

本番さながらの8耐ビットデモンストレーション



実行委員長
山名 中 くん
 (自動車整備科3年)

今回の学園祭では4月から準備期間があったのですが、みんなが一つにまとまるのにすごく時間がかかりました。しかし、学園祭当日には個人プレーではなく、輪から輪が広がり一致団結したように思います。技術コンクールでは、各クラスがチーム力を高めて取り組めたと思います。トライアルではみんなで楽しむことができ、よりスローガンに近づいたと感じました。運営する難しさや人をお願いする難しさをこの学園祭で学ぶことができました。



女生徒も顔負けの女装で今年も大好評! コンテスト出演者は目一杯の個性を表現していました



工具の展示販売など、学生に大人気でみんな興味深く見ていました



たこやき、そばめし、唐揚げ、フランクフルトなどのたくさんの 模擬店が出店しました



キャリバー・ピストン組立コンクールでは1秒のタイムを競い合う「技術コンクール」



車やバイクの整備技術を競い合う「技術コンクール」

第8回 全日本学生フォーミュラ大会



走行直前に不具合を発見し走車を達成

自動車の研究開発科2年生は9月7日(火)〜11日(土)静岡県袋井市のエコパ内で開催されました「第8回全日本学生フォーミュラ大会」に参加しました。台風の影響で静かな審査会場がエコパ球技場の地下駐車場に変更される等、天候が大きく変わる状況下

自動車研究開発科2年生 大会結果、総合順位70チーム中37位

で、夏休み明けに作り上げたマシンの性能を最大限に引き出すべく、全員が一致団結してマシンの調整やチェックを行い審査や競技に臨みました。スタート直前まで入念に調整を行いましたが、最後の競技「エンデュランス」でスタート直後にエンストし、再始動が出来ず惜しくもリタイヤ。しかし、その他の審査・競技で27.3点を取り、総合順位70チーム中37位で全日本大会を終えることができました。今後は課題を分析し、今回出場できなかったチーム「Feather」と共に12月に行われる「アメリカ大会選考会」に向け、マシンを仕上げていきます。



保護者の皆さんと鈴鹿製作所の前にて

本田技術工業(株)鈴鹿製作所の工場見学を9月23日(木)に開催。14世帯24名の保護者の方に参加いただきました。参加者の声「工場は想像していたより遥かに広大な敷地の中にあり、長さ1kmにも及ぶ工場棟は印象的でした。環境調和型工場と、外壁ではなく樹木を植えて地域との調和をはかり、C O2も削減するという工夫がされており感心しました。工場の中は作業ロボットが力持ちの熟練のごとく素早い動きで連携作業を巧みにこなして、新しいロボットが次々と生まれ出ていました。昔前映画のシーンで見た未来の工場の中、そのもので感動しました。また、重量物の取り扱いや難姿勢作業はロボットに置き換えるという、基本理念である、人間尊重の箇所が多く見られ、人にも優しいと感じました。創意工夫と最新技術を駆使して、すばらしい製品を生み出すホンダマン達の逞しい姿に触れた日でした。帰りましてから、子ども達と見学の話題で大いに盛り上がりました。このような有意義な時間を過ごすことができ、感謝いたします。

鈴鹿製作所 工場見学 保護者14世帯 24名が参加



スクリーンを使っての講習で基礎知識や仕組みを学習しました。

タイヤ空気充填講習

9月21日(火)22日(水)の2日間、タイヤメーカーの日本グッドイヤー(株)から講師の方をお招きして、タイヤの空気充填講習を受けました。タイヤ空気充填とは「(1)タイヤ脱着作業 (2)タイヤ交換作業(組替) (3)エア充填・エア調整作業 (4)ホイールバランス取り作業 (5)タイヤ取付後締め付けトルクの確認」の作業です。しっかりと知識を身に付けておかないと危険な場合もあるため、真剣に講習を受けました。



実技においては、実際にタイヤチェーンを使用して説明していただきました。